

県立広島大学 性の多様性に関する基本理念と基本方針について

令和3年4月1日

1 基本理念

県立広島大学は、人権を重んじる大学として、性的指向・性自認等を理由とする差別や偏見のない大学を目指します。

また、本学構成員一人ひとりが相互に人格と多様性を尊重し合い、快適に安心して過ごせる教育・研究環境を整えます。

2 基本方針

県立広島大学は、基本理念に基づき、その実現の指針となる基本方針を次のとおり定めます。

- (1) 学生の個別の意思・選択を常に尊重すること。
- (2) 学生本人を交えて十分に話し合い、実現のあり方を考えること。
- (3) 全学の関係者が協力して実現に向けて取り組むこと。
- (4) 学生生活全般に関して合理的配慮を図ること。
- (5) 個人情報保護を徹底すること。
- (6) 性の多様性に関する理解促進のための啓発を行うこと。
- (7) 取り組みに関する情報を学内外に向けて公開・発信すること。

3 支援の対象と範囲

対象となるのは、性的指向・性自認等に関連して、学生生活に困難を抱える本学のすべての学生とします。支援の範囲は、入学から卒業までの学生生活全般に関する事項、進学・就職等に関する事項とします。

4 組織体制

基本理念の実現にむけ、大学教育実践センター学生支援部門を中心として、具体的な方策・課題の検討及び審議を行い、全学的な取り組みを推進するとともに、関係部署等が緊密に連携し、対応にあたることとします。

県立広島大学 性の多様性に関する対応ガイドライン

令和3年4月1日

1 相談窓口について

性的指向・性自認等に関する相談窓口は、広島キャンパスでは教学課学生支援係、庄原キャンパスや三原キャンパスでは教学課です。

相談の内容に応じて、守秘義務をもって対応します。必要がある場合には、本人に連携の範囲や内容を事前に確認したうえで、関連部署間で連携して対応を協議します。個別の状況や大学側の事情によって必ずしも希望通りの対応ができない場合がありますが、気軽に相談してください。

2 氏名・性別の情報とその管理について

(1) 氏名の取り扱いについて

学内において自認する性に基づく通称名の使用を希望する場合は、所定の手続きを経た上で使用することができます。

本学が発行する証明書等については、可能な範囲で柔軟に対応します。ただし、自認する性に基づく通称名を使用することにより不利益が生じる場合がありますので、その場合は本人の責任において対応してください。

(2) 性別情報の取り扱いについて

当事者の意図しない形で本人の性別情報が公開されないように、慎重に取り扱います。

学生、教職員に配付・掲示する名簿又は大学所定の許可申請書や届出書等の様式については、性別情報が特に必要ではない場合には、性別欄を設けないこととします。

3 授業について

(1) 授業について

授業（実習等）において、性別で区別することがある活動（体育等）については、特に必要な場合以外には行わないこととします。体育等でのグループ分けや服装等について心配な方は、履修前にシラバス等の情報を確認のうえ相談してください。

更衣室を利用する授業では、施設や設備の状況により必ずしも希望に沿えるとは限りませんが、個別対応を事前に相談することができます。

(2) 校外実習について

実習受け入れ先の体制により必ずしも希望に沿えるとは限りませんが、教育実習や病院実習等で想定されるトイレや更衣室、服装等に関して、個別対応を事前に相談すること

ができます。

(3) 呼称について

授業中の呼称において、敬称をつける際には性別で使い分けず、「～さん」等に統一することを全構成員に推奨します。

外国語の授業における呼称についてもこれに準じます。事前の相談により本人の要望に沿った呼称にすること（たとえば Ms.ではなく Mr.や Mx.とする等）も可能です。

4 学生生活について

(1) 健康診断について

事前申し出により、受診時間帯の配慮や個別受診等ができるよう調整をします。

(2) トイレについて

男女別のトイレが使用しづらい方は、男女共用の身障者対応トイレ・多目的トイレを使用してください。多目的トイレについては、多目的であることが理解できるように表示の改善を進めます。

5 就職活動について

就職活動にあたっては、一人ひとりが力を発揮できるよう支援します。

キャリアセンターでは、インターンシップや就職活動時、就職後の不安をはじめ、キャリアに関わる内容について、キャリアカウンセラーと相談し、ともに考えることができます。

6 理解促進・情報発信について

性の多様性に関する理解促進や支援体制づくりのため、学生への意識調査を実施します。

本学学生、教職員・大学関係者に対して、性の多様性に関する理解促進に係るFD/S D等の研修・情報提供を定期的・継続的に行います。

本学における性の多様性に関する取組の情報を、学内外に向けて、大学HP等を利用して公開・発信します。

7 その他

(1) 入学式・卒業式の服装と身なりについて

本学では多様性を推進する観点から、入学式や卒業式において多様なアイデンティティに基づいた服装や身なりで参加することができます。式典であることを踏まえたうえで、みなさんにふさわしい服装や身なりでご参加ください。

(2) 留学について

留学プログラムの企画元や協定校によって受け入れ状況が異なるため、必ずしも希望に沿えるとは限りませんが、留学に関して支援を希望する場合は、個別対応を事前に相談してください。

その他、大学での活動全般について、ご心配なことは何でも相談に応じます。